

出産・子育て・教育 地域まるごと応援プロジェクト

推進

事業年度

平成30～令和2年度
[横展開]

概要

これまで長きにわたり市民が主役のまちづくりに注力し続けてきたことにより築き上げたソーシャルキャピタルを基盤に、出産、子育て、教育を地域ぐるみで行う取組を行い、出生率の向上と若い世代の地元定着や転入者の増加を目指す。

事業費（令和2年度）

321万円

背景

住民自治の熟度の高まりにより、子育て広場を各地域が主体的に実施するなど、地域で子育てを行う風土が作られている中、その流れを加速化されるべく本市も平成29年12月に「妊婦応援都市宣言」を行った。また、全国的にも課題となっている小1プロブレムへの対応も必要であった。

KPI①

市外への転出超過の抑制数

基準値

年度

H30

R1

R2

前年比 101人
(H29年度)

実績

(転出超過数：119人)
308人抑制

(転出超過数：150人)
31人の増加

(転出超過数：461人)
311人増の増加

目標値

前年比10人抑制

前年比10人抑制

前年比10人抑制

KPI②

出産・子育て・教育
地域まるごと応援事業
による提案事業の数

基準値

年度

H30

R1

R2

16事業
(H29年度)

実績

1事業の増

増加なし

増加なし

目標値

前年比 2事業増加

前年比 2事業増加

前年比 2事業増加

KPI③

こそだてサポーター
の数

基準値

年度

H30

R1

R2

0回
(H29年度)

実績

27回 (1,206人)

10回 (740人)

△ 3回
(7回実施 560人)

目標値

前年比 100回増

前年比150回増

前年比150回増

事業内容

<妊産婦応援事業>

「こそだてサポーター養成講座」の実施、妊婦応援都市宣言推進の周知・啓発

<地域の宝「ばりっ子」応援プロジェクト>

○ばりっ子ピカピカ小1学級体験プロジェクト：幼児期から小学校への就学をスムーズに移行できるよう市内の公立・私立の保育所・園を巡回（年間2回）し、「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」に基づいて保育実践を実施

○ふるさとなばり推進プロジェクト：ふるさと学習なばり学を活用し、ゲストティーチャーとして地域人材による授業の実施



起業・事業所支援事業

推進

事業年度		概要				
令和元～3年度		名張市経済好循環推進協議会において新規創業者の増により経済の活性を目指す。また老舗の事業を継承する仕組みづくりを行うとともに、農業分野においても事業承継や大規模農業者の育成を行う。「1 継がれる側の人材育成」「2 継ぐ側の人材育成」「3 事業所の魅力再発見」「4 潜在労働者の掘り起し」を4つの柱として事業展開を図る。				
事業費（令和2年度）		背景				
4,043万円		これまで、雇用創出を図るべく平成28年度から新規創業者並びに創業間もない事業者、また子育て世代の女性活躍分野の支援を行ってきた。近年、経営難により老舗の事業所の廃業が増え、事業所が減少している。老舗には従業員がいる場合が多く、廃業すると創業者を増やすより経済損失が多い場合がある。新規事業者の獲得と、老舗の継続並びに承継を行う必要がある。				
KPI①	当プロジェクトによる事業所の営業可能年数の増	基準値	年度	R 1	R 2	R 3
		0 年 (H30年度)	実績	55年	128年	—
			目標値	30年	20年	20年
KPI②	当プロジェクトによる雇用・起業者数	基準値	年度	R 1	R 2	R 3
		0 人 (H30年度)	実績	61人	161人	—
			目標値	10人	30人	40人
KPI③	事業を継ぐ側のセミナー等参加人数	基準値	年度	R 1	R 2	R 3
		0 人 (H30年度)	実績	125人	329人	—
			目標値	100人	200人	200人
KPI④	事業を継がれる側の企業・事業所側の参加数	基準値	年度	R 1	R 2	R 3
		0 事業所 (H30年度)	実績	128事業所	290事業所	—
			目標値	50事業所	100事業所	100事業所
事業内容		＜事業所継続プロジェクト＞ 各セミナー（事業承継、農業経営承継、事業承継個別相談、創業支援など）の開催、なばり後継者人材バンク事業の実施、 ＜潜在的労働力活用プロジェクト＞ 子育て世代労働支援女性セミナー、在宅ワークセミナーなどの実施				
		 				



赤目四十八滝『忍者・自然・精神』ニューツーリズム

推進

事業年度		概要				
令和元～3年度		『忍者・自然・精神』をテーマに国内はもとより欧米系外国人をターゲットにニューツーリズムの創造と実践に取り組む。滞在型の「学術研究フォーラム」の開催や、また、旧旅館跡の未利用部分を「なばり忍者ミュージアム」として改修し、修験道や忍者をヒストリカルに展示しニューツーリズムの発信拠点としての役割を果たすよう取り組む。				
事業費（令和2年度）		背景				
1,600万円		近年、赤目四十八滝には2,500人程度の外国人旅行者の入込があり、「自然」「精神」を好む欧米系の個人旅行者の割合が高いのが特徴となっている。しかしながら圧倒的に日帰りが多く、温泉旅館への宿泊等に結び付いていない現状があるなか、日本人観光客を含め、長時間滞在し、市内消費を促す仕掛けが必要となっている。				
KPI①	赤目四十八滝への延べ入込客数	基準値	年度	R 1	R 2	R 3
		130,000人 (H30年度)	実績	△13,305人	4,507人（121,202人）	—
			目標値	前年比 6,000人増	前年比 20,000人増	前年比 10,000人増
KPI②	赤目四十八滝を訪れた外国人の延べ数	基準値	年度	R 1	R 2	R 3
		2,500人 (H30年度)	実績	721人増	△2,031人（1,190人/年）	—
			目標値	前年比 500人増	前年比 2,000人増	前年比 2,500人増
KPI③	赤目四十八滝エコツアーデスクでの体験メニュー利用者の延べ数	基準値	年度	R 1	R 2	R 3
		9,000人 (H30年度)	実績	△2,532人	△1,189人（5,279人）	—
			目標値	前年比 200人増	前年比 300人増	前年比 500人増
KPI④	「（仮称）なばり忍者ミュージアム」への延べ入館者数	基準値	年度	R 1	R 2	R 3
		0 人 (H30年度)	実績	200人増	15,857人（22,325人）	—
			目標値	0人	前年比 50,000人増	前年比 50,000人増
事業内容						
赤目四十八滝渓谷の自然と忍者のルーツや精神など、本市特有の観光資源をいかした観光コンテンツの開発とプロモーションの実施 ＜主な実績＞ まるごと1か月忍者修行選手権、長坂山回峰行トレッキングなど						
						
						



協働循環型社会を目指す東奈良名張 「竹灯り」SDGsプロジェクト

推進

事業年度

令和2～4年度

概要

環境保全活動である竹林整備で間伐された竹を再利用して竹灯りを作り、赤目四十八滝をはじめとする景勝地でのライトアップイベントの開催により、当該取組の観光商品化を目指し、観光誘客による経済の活性化を図る。また「竹あかりプロジェクト」をはじめ、圏域内の様々な観光資源を含めたインバウンド向けのプロモーションを行い、外国人誘客に取り組む。

事業費（令和2年度）

786万円

背景

モノからコトへとシフトする観光ニーズにおいて自然の中でのアクティビティ体験はもとより環境保全活動への参加ツアーなど人々の価値観も多様化しており、自然・歴史・文化を観光資源とし、自然体験志向の国内観光客や欧米系FITをターゲットに誘客に取り組んでいる当該圏域の観光産業の発展にはエコツアーの深化が不可欠となっている。

KPI①	名張市、宇陀市、曽爾村、御杖村、山添村、東吉野村の延べ観光入込客数	基準値	年度	R 2	R 3	R 4
		33,416,508人 (R元年度)	実績	△854,863人	—	—
			目標値	前年比 5,000人増	前年比 6,000人増	前年比 7,000人増
KPI②	赤目四十八滝を訪れた外国人の延べ数	基準値	年度	R 2	R 3	R 4
		2,904人 (R元年度)	実績	△1,714人	—	—
			目標値	前年比 50人増	前年比 100人増	前年比 150人増
KPI③	竹林整備及び竹灯りワークショップへの延べ参加者数	基準値	年度	R 2	R 3	R 4
		0人 (R元年度)	実績	140人	—	—
			目標値	前年比 50人増	前年比 100人増	前年比 150人増

事業内容

「なばり竹あかりSDGsプロジェクト」をスタートさせ、「赤目溪谷 幽玄の竹灯り」を開催
 <主な実績>
 竹あかりづくり体験ワークショップの開催（3回開催、140人参加）



多文化共生社会実現事業

推進

事業年度 令和元～3年度	概要 名張市人権センター内に「多文化共生センター」を設置し、地域住民と外国人が交流するサロンの運営や交流イベント、専用ホームページの開設やリーフレット等による情報発信を行い、外国人に対する総合的な支援を行う。
事業費（令和2年度） 603万円	背景 令和元年6月1日時点で、人口78,550人のうち外国人住民人口が983人となり、この1年間で242人の増加となっている。本市が目指す地域共生社会は「すべての住民」が対象であり、日本語や日本の生活への理解、また地域コミュニティとのつながりの希薄さなどから地域の中でのトラブルも多発している。このような状況から、互いに交流できる機会や外国人同士の交流の場などが必要となっている。

KPI①	外国人住民数の維持	基準値	年度	R 1	R 2	R 3
		0 人 (H30年度)	実績	146人増	△75人	—
			目標値	前年比 10人増	前年比 10人増	前年比 10人増
KPI②	多文化共生センターの延べ利用者数	基準値	年度	R 1	R 2	R 3
		0 人 (H30年度)	実績	100人	1,095人増	—
			目標値	前年比 300人増	前年比 300人増	前年比 200人増
KPI③	地域が主体となって実施する外国人との交流事業の開催回数	基準値	年度	R 1	R 2	R 3
		0 回 (H30年度)	実績	1回	増減±0（1回実施）	—
			目標値	前年比 1回増	前年比 4回増	前年比 5回増

事業内容

- 多文化共生センター
居場所・ネットワークづくり、異文化交流、国際理解の促進、新型コロナウイルス感染症に関する情報提供など
- 学校における外国人児童生徒サポート事業
外国人児童生徒に対し、日本語を理解して学習に取り組めるようになるための日本語指導や、学校生活を安心して過ごせるための支援を実施



赤目チャレンジステーション整備事業

拠点
整備

事業年度	平成30年度	概要	赤目四十八滝キャンプ場を「赤目四十八滝チャレンジステーション」として様々なニーズに対応すべく、幅広い用途に利用できるよう機能向上を図るための新築・改修工事を実施。自然体験・移住体験の受入にも対応できるよう整備を行う。
事業費	6,388万円	背景	室生赤目青山国定公園等の豊かな自然にある赤目地域は、近鉄大阪線の駅が地域内にあるなど利便性が高いことから、都市部住民の受入に適した地域であるが、従来型の観光が中心となっており、自然体験や農業体験といった新しいニーズに応える施設や体験メニューが整備されておらず、受入体制が整っていないことが課題となっていた。

KPI①	赤目チャレンジステーションにおいて研修を終えた新規就農者数	基準値	年度	H30	R1	R2	R3	R4
		0 年 (H30年度)	実績	—	0人	0人	—	—
			目標値	前年比0人増	前年比1人増	前年比1人増	前年比2人増	前年比3人増
KPI②	赤目地域への年間転入者数	基準値	年度	H30	R1	R2	R3	R4
		55 人 (H30年度)	実績	92人	3人増 (95人)	△20人 (75人)	—	—
			目標値	前年比0人増	前年比2人増	前年比4人増	前年比6人増	前年比8人増
KPI③	赤目チャレンジステーションの年間利用者数	基準値	年度	H30	R1	R2	R3	R4
		3,306人 (H30年度)	実績	—	41人	△1,828人	—	—
			目標値	前年比0人増	前年比50人増	前年比100人増	前年比150人増	前年比200人増

事業内容

- 赤目四十八滝チャレンジステーション整備工事
 - ・調理棟、便所、管理棟・研修棟の屋根及び外壁改修工事
 - ・宿泊棟（空調、ベッドを設置）を4棟新築
 - ・シャワーブースを新築
- ケーブルテレビ及び無線LAN環境構築 など



起業・創業拠点整備プロジェクト **ワイナリー整備事業**

**拠点
整備**

事業年度 平成29年度		概要 閉校となった旧国津小学校校舎をワイン製造拠点として活用するとともに、地域の活性化につながる校舎の有効活用に向けた整備を実施。						
事業費 7,849万円		背景 名張商工会議所では、地域の特産品である「ぶどう」のブランド力をさらに高め、販路拡大や観光振興などを目指した「ワインづくりプロジェクト」が進められていた。 名張市においても平成２７年度に地元産ぶどうを使ったワイン醸造の規制を緩和した『名張市リカーチャレンジ特区』（構造改革特別区域計画）の認定を受けている。						
KPI①	交付対象事業の取組による雇用創出件数	基準値	年度	H28	H29	H30	R1	R2
		0 件 (H27年)	実績	7件	53件増 (60件)	64件増 (124件)	128件増 (252件)	161件増 (346件)
			目標値	15件増	50件増	50人増	50人増	75人増
KPI②	とれたて名張交流館（直売所）及び拠点整備利用業者の売上金額	基準値	年度	H28	H29	H30	R1	R2
		1億1,859万円 (H27年度)	実績	△510万円 (1億1,349万円)	△1,381万円 (9,968万円)	△638万円 (9,330万円)	2,089万円増 (1億1,419万円)	△184万円 (1億1,235万円)
			目標値	334万4千円増	500万円増	500万円増	700万円増	700万円増
KPI③	プロジェクト協力事業所数	基準値	年度	H28	H29	H30	R1	R2
		0事業所 (H27年度)	実績	15事業所	85事業所増 (100事業所)	95事業所増 (195事業所)	128事業所増 (323事業所)	290事業所増 (613事業所)
			目標値	10事業所増	25事業所増	25事業所増	25事業所増	25事業所増
事業内容 1 Fをワイナリー施設、2 F・3 Fを6次産業化の拠点としても活用可能なインキュベーションオフィスとして整備。平成30年4月より名張産ワインの醸造を開始し、昨年9月に初出荷。 運営：(株)国津果実酒醸造所								



“元 気・交 流” 拠 点 整 備 事 業

拠点
整備

事業年度 平成29年度		概要 中央公園内にある市民陸上競技場のスタンド下スペース等を改修し、単なる競技場ではなく、他のスポーツ施設も含め中央公園一帯を“元気・交流ゾーン”としての新たな機能を持たせることで、生涯スポーツを通じた市民の健康づくりと、市民の交流と自治体間交流の機会向上、さらには新たな誘客を生み出すための拠点施設として整備。						
事業費 実績額 4,779万円		背景 市民陸上競技場は、平成28年度に全面芝生化及びトラックのウレタン塗装などの機能向上を図ったが、競技場横にあるスタンド下スペースについて、有力チームの試合や合宿などを誘致するためには、ミーティングルームの新設やロッカールームの機能向上などの環境整備が必要。						
KPI①	拠点施設の使用料収入	基準値	年度	H29	H30	R1	R2	R3
		162万円 (H28年)	実績	55.5万円増 (217.5万円)	△44.8万円 (172.7万円)	66万円増 (238.7万円)	△12.8万円 (226.4万円)	—
			目標値	63.8万円増	20万円増	20万円増	30万円増	50万円増
KPI②	拠点施設の利用者数	基準値	年度	H29	H30	R1	R2	R3
		27,131人 (H28)	実績	16,284人増 (43,415人)	△3,725人 (39,690人)	8,484人増 (48,174人)	△2,549人 (45,625人)	—
			目標値	12,869人増	1,500人増	1,500人増	2,000人増	5,000人増
KPI③	市外からの大会や合宿等の受入数	基準値	年度	H29	H30	R1	R2	R3
		3件 (H28)	実績	61件増 (74件)	△9件 (65件)	±0 (65件)	△36件 (29件)	—
			目標値	5件増	5件増	10件増	10件増	10件増
事業内容 ○陸上競技場スタンド下スペース等改修 ミーティングルーム、交流室の新設及びこれにあわせたロッカールーム（更衣室）とトイレの機能向上 イートインやケータリング、グッズ販売等、大会やイベントに対応できる多目的スペースの新設 運営：マツヤマSSKグループ（2020年4月～）								



名張市市民活動活性化ゾーン形成計画

拠点
整備

事業年度		概要						
平成29年度		名張市市民センター別館の和風建築を生かした「『食べてだあこ』おもてなし事業」として協議会が実行組織を立ち上げ、カフェの運営を行い、市民センター登録サークル等によるショップ「よってだあこ」を実施する。						
事業費		背景						
実績額 4,476万円		少子高齢化や世帯数の減少などに伴い、賑わいのあった旧市街地の暮らしに変化が生じており、まちづくりの観点からも歴史・文化等の継承にかかる事業が衰退、地域住民だけで市街地の風情を守っていくことは限界がある。このため多様な団体が経験やスキルを持ち寄り、活動の承継・継承が求められる。						
KPI①	拠点での実施事業による売り上げ	基準値	年度	H28	H29	H30	R1	R2
		0万円 (H27年)	実績	—	—	731万円	△78万円 (653万円)	△184万円 (469万円)
			目標値	0万円増	0万円増	360万円増	100万円増	100万円増
KPI②	ショップ「よってだあこ」の参加によって起業につながった件数	基準値	年度	H28	H29	H30	R1	R2
		0件 (H27)	実績	—	—	0件	0件	0件
			目標値	0件増	0件増	1件増	1件増	1件増
KPI③	ショップ「よってだあこ」に参加する市民団体の数、お菓子事業への協力事業者数	基準値	年度	H28	H29	H30	R1	R2
		0団体 (H27)	実績	—	—	10団体	△5団体 (5団体)	△2団体 (3団体)
			目標値	0団体増	0団体増	25団体増	5団体増	5団体増
事業内容								
○名張市民センター（旧高北邸）和室耐震補強及び改修工事								
名張市民センター別館について、耐震補強、トイレ改修、厨房、事務室等の改修工事を行い、和風建築を生かした「食べてだあこおもてなし事業」として、まちづくり協議会が実行組織を立ち上げカフェの運営に向け、経済活動の拠点としての整備を行った。								
								

